

観音山スギ・シブカワツツジ希少個体群保護林 希少-70

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 天竜森林管理署
所在地	静岡県 浜松市
面積	7.94ha
設定年	1947(S22)年
保護林の概要 (設定目的)	観音山の稜線沿いの南向き斜面には、旧幕時代の植栽と推定される高齢級のスギ林に広葉樹が侵入して天然林的な林相を呈した森林が形成され学術上貴重である。また、観音山へと続く稜線部には、蛇紋岩変形植物として知られる希少な植物が分布している。このため、高齢級のスギや落葉広葉樹からなる群落や、蛇紋岩変形植物を含む群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2017年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、ヒノキが優占して生育する林分において計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。(旧観音山の森林植物群落保護林)
結果概要	高齢級のスギ植林は、天然林的な様相を呈しており、前回調査と比較して大きな変化は確認されていない。保護対象である高齢級のスギが優占した天然性林は健全に生育・更新しており、本保護林は良好な状態で維持されていると評価される。